



# トロンボーン 取扱説明書

## ご用意いただくもの

### 必要なもの (テナー、テナーバス共通)

- スライドオイル・クリーム スライドに塗り、スライドの動きをスムーズにします。
- ウォーターズプレー スライドオイル・クリームを使用する際、水を吹きかけることでスライドの動作をスムーズにするのを助けます。
- スライドグリス 抜差管に塗り、動作をスムーズにします。また、汚れ・錆による固着を防ぎます。
- ガーゼ 抜差管の汚れを取り除く際に使用します。
- ガーゼ(大) スライドの汚れと水分を取く際に使用します。
- クリーニングロッド(抜差管用) ガーゼを巻いて、抜差管の掃除に使用します。
- クリーニングロッド(スライド用) ガーゼを巻いて、スライドの掃除に使用します。
- クリーニングクロス 楽器表面の汚れを拭きます。

### 必要なもの (テナーバスのみ)

- ローターオイル ローターに注油し、動作をスムーズにします。また、ローター内部を保護する効果もあります。
- ロータースピンドルオイル ローター軸に注油し、動作をスムーズにします。また、ローター軸・軸受けを保護する効果もあります。

テナーバス

この度は、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性質等を十分にご理解いただけますようお願いいたします。



## 安全上のご注意

- オイルや小さな部品類をお子様や口にしないう様、ご注意ください。
- 楽器を投げたり振り回したりしないでください。部品が抜け飛んだり、楽器の一部が当たると危険です。
- 調整、修理が出来なくなる恐れがありますので改造はおやめください。保証の対象外となります。
- 万が一オイルが目や口に入った場合、流水で良く洗い、異常があるようなら医師にご相談ください。
- ぶつけたり、落下や転倒によって変形する恐れがあります。外観を損なうだけでなく、抜差管やマウスピースが抜けなくなるにつな갑니다。取扱いには十分ご注意ください。
- 楽器を火気に近づけないでください。火災やけがの原因となることがあります。

### あったら便利なメンテナンス用品 (テナー、テナーバス共通)

- ラッカーポリッシュ ラッカー仕上げの楽器の表面を研磨し、汚れを取り除きます。
- フレキシブルクリーナー 管内の掃除に使用します。
- マウスピースブラシ マウスピースの内側を掃除します。
- 中性洗剤 管内の洗浄に、水で薄めて使用します。

### あったら便利なメンテナンス用品 (テナーバスのみ)

- レバーオイル レバーの支持台の軸受け部に使用します。

テナーバス

## トロンボーンによくある質問

### スライドの動きが悪くなった。

**スライド外管と内管の間に汚れが溜まっていませんか?** スライドに水分や古いオイル、クリームが残ったまま長い間放置すると、錆びついてしまったり、オイルやクリームが硬化して動作不良が起こります。ガーゼで汚れをよく拭き取りましょう。直らない場合は、スライド内を洗浄してみてください。それでも改善しない場合はメンテナンスに出しましょう。

**スライドに傷がついていませんか?** 屋外で演奏した場合など、砂ぼこりが入ってスライドの内側を傷つけてしまうことがあります。無理に動かそうとせず、まずは汚れを拭き取りましょう。新しいオイル、またはクリームを注しても引っ掛かりが改善しない場合は修理に出しましょう。

**スライドを曲げたり凹ませたりしていませんか?** スライドが入った状態で表面をぶつけて凹みができてしまうと、その状態からスライドが動かなくなることがあります。また、スライド部分に凹みがなくても、周辺部分に力がかかってしまうとスライドの平行がゆがみ、スライドが動かなくなる原因になります。無理に抜こうとせずに修理に出しましょう。

### レバーを押すとカチャカチャと異音が出る。

**回転台ストッパーゴムなどのパーツが消耗していませんか?** 回転台ストッパーゴムなどのパーツが消耗していると異音の原因になるだけでなく、音抜けなどにも影響します。パーツ交換が必要なので購入店にご相談ください。

### 音がおかしくなった、息が通らなくなった。

**息漏れしていませんか?** マウスピースから息を吹き込み、ベルから息が出るまでの間で息漏れが起きると、正しい音が出なくなります。この場合は、コルク交換などの修理に出しましょう。  
**ウォーターキー付近からの息漏れ**→ スライドのウォーターキーコルクが欠けたり、劣化した場合、またウォーターキーが変形してしまったりすると、コルクと管の間に隙間ができて息漏れが起きます。

### 抜差管が抜けなくなった、固くなった。

**抜差管は真つすく抜いていますか?** 抜差管は2本の管が平行に作られています。両方の管に同じように力がかかるように、管の方向に沿って真つすくにゆっくり抜きましょう。

**長い期間お手入れせずに放置していませんか?** 抜差管に水分や古いグリスが残ったまま長い期間放置すると、錆びついてしまったり、グリスが硬化して動作不良が起こります。ガーゼで汚れをよく拭き取り、新しいグリスを塗り直しましょう。それでも改善しない場合はメンテナンスに出しましょう。  
**錆びついている場合**→ 錆びついた抜差管を無理に抜こうとすると、思わぬところに力がかかり故障の原因になります。修理に出しましょう。

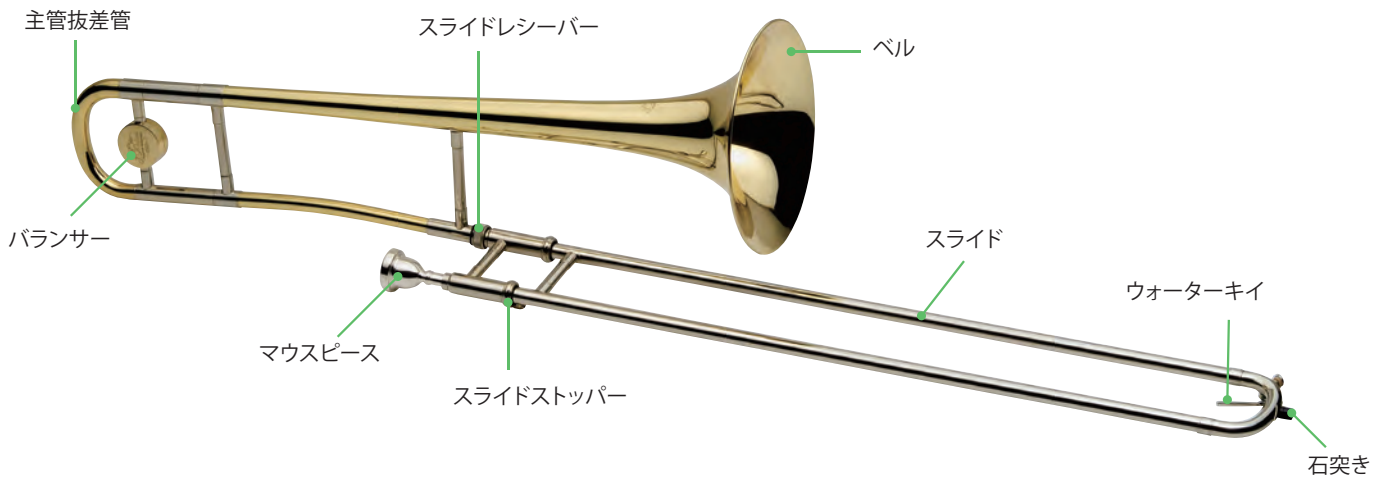
**抜差管を曲げたり凹ませたりしていませんか?** 抜差管が変形していたり、傷が付いている場合は、無理に抜こうとせずに修理に出しましょう。

### スライドの掃除棒、ガーゼが抜けなくなった。

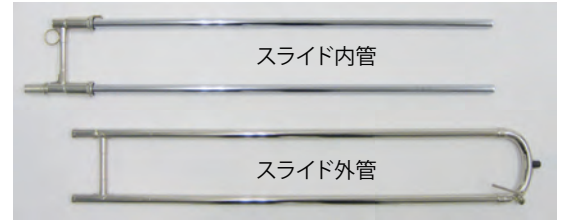
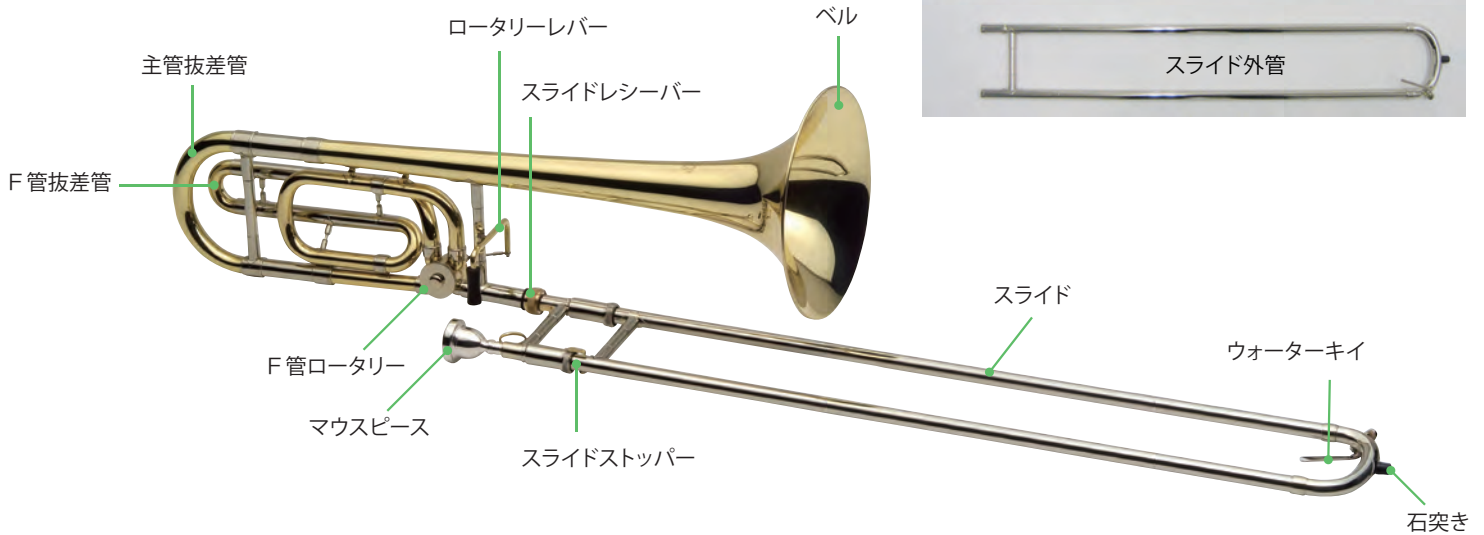
無理に抜こうとすると、スライドが曲がったり、より状態が悪くなってしまう場合があります。修理に出しましょう。

# 各部の名称

## ● テナートロンボーン



## ● テナーバストロンボーン



### ! スライドの取り扱いについて

スライドは外管と内管がセットになっており、組み立て時などにどちらかが抜け落ちてしまうことがあります。スライドストッパーが閉まっていることを確認し、スライドの2本の支柱を持つようにして下さい。  
また、スライドの中央部(管の長い部分)を持つと、変形し動作不良の原因となります。

### ! ロータリーの取り扱いについて

ロータリーはデリケートな部品です。乱暴に扱わないように十分にご注意ください。  
また、お手入れを怠ると、ロータリーの動きが悪くなります。使用前後のローターオイルの注油を必ず行って下さい。  
長期間演奏しない場合でも、定期的に楽器の状態を確認し注油などのお手入れを行って下さい。  
ロータリーの動きが悪くなってしまった場合は、ご自身で無理に分解せず、ご購入いただいた販売店へご相談ください。

## 1 スライドの準備



- ① スライドストッパーを緩め、スライド外管を抜き取ります。
- ② スライド内管のスロッキング部にスライド専用のオイル、またはクリームを塗ります。
- ③ スロッキング部にウォータースプレーで水を吹きかけます。
- ④ スライド外管にスライド内管を戻し、数回動かしながらなじませます。
- ⑤ スライドストッパーを閉め、スライドが抜け落ちないようにします。

スライドクリームの量により、スライドの動きが変わりますので、スムーズに動くようにクリームの量を調整して下さい。演奏中にスライドの動きが悪くなったら、ウォータースプレーで水を吹き付けて下さい。



## 3 スライドの取り付け

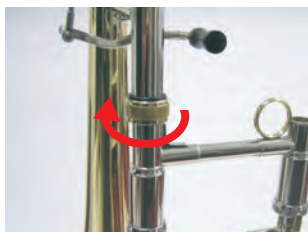


- ① 管体を左手、スライドを右手に持ちます。
- ※ スライドは必ず2本の支柱を持つようにして下さい。

- ② スライドのジョイント部をスライドレシーバーに差し込み、ネジを締めます。

スライドと管体の位置は演奏しやすい角度にして下さい。

- ! 角度調節の際、スライドをベルにぶつけないように注意して下さい。



## 4 マウスピースの取り付け



マウスピースは軽く回すようにして入れます。

- ※ 絶対に強く押し込まないでください。抜けなくなることがあります。

### 楽器の置き方

不安定な場所に楽器を置くと、楽器が転倒する恐れがあります。安定した場所に楽器を置いて下さい。演奏が終わった後や小休憩、移動のときは、ケースに入れることをおすすめします。床に楽器を置くことは避けて下さい。スライドに負荷がかかり、動作不良の原因になります。トロンボーン用スタンドを使用する場合は、スタンドが安定していること、スライドストッパーが閉まっていることを確認して下さい。



## 2 ローターへの注油

テナーバス

ロータリーに向かって真っすぐ滴下



レバーを動かしながら

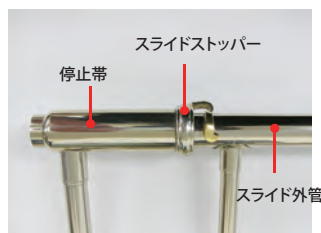
ロータリーレバーを数回動かしながら、スライドレシーバーから直接ロータリーへローターオイルを注し、なじませます。

- ※ ローターオイルを使用して下さい。
- ※ スライドレシーバーの内面にローターオイルが付着すると、汚れやごみがロータリーに入り、動きが悪くなる原因になりますのでご注意ください。

## ! スライドの落下防止

スライドは、外管と内管で構成されています。

組み立て時などに誤って外管を落下させないよう、スライドストッパーが確実に閉まっているかを確認しましょう。



## 5 チューニング



チューニングは主管抜き差し管の抜き具合で調整します。

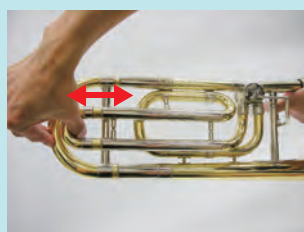
- ※ 楽器のピッチは温度によって変わります。管内によく息を吹き込んで温めてからチューニングをしましょう。

- 抜き差し管を抜く → 低くなる
- 抜き差し管を入れる → 高くなる

### F管のチューニング

F管のチューニングを、F管抜き差し管の抜き差しで行います。

- ※ F管抜き差し管を抜き差しする際は、必ずレバーを押して下さい。



テナーバス

## 1 スライドのお手入れ

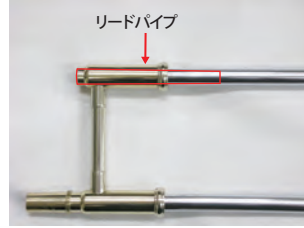


- ❗ 演奏後は、必ず管内の水分を取り除き、スライドの清掃を行って下さい。
- ① ウォーターキーから水分を抜きます。
- ② スライド外管を抜き取り、スライド内管表面の水分・汚れをガーゼで拭き取ります。
- ③ クリーニングロッドの先端が露出しないようにガーゼを巻き付けます。この時、ガーゼの端がクリーニングロッドの持ち手部分に届くように巻きます。
- ※ 先端部分が露出していると、管内に傷が付く恐れがあります。



- ④ ガーゼの巻き終わりをしっかり持ち、スライド外管内側の水分・汚れを拭き取ります。

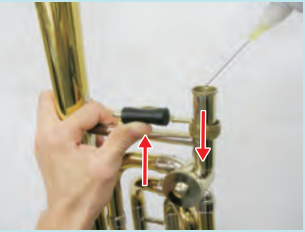
※ ガーゼを持ち手側でしっかり持っていないと、途中でガーゼがつまり抜けなくなってしまう場合がありますので、ご注意ください。



- ⑤ スライドを元に戻し、スライドストッパーを閉めます。
- ❗ 清掃時の注意  
スライド内管のマウスピース側にはリードパイプが入っています。リードパイプは薄い真鍮でできており、強い力がかかると変形します。また、形状が途中で細くなっているため、ガーゼが詰まりやすいのでご注意ください。もし途中で詰まってしまったときは、無理せず販売店に相談しましょう。

## 2 ロータリーへの注油

テナーバス



演奏前と同様にロータリーにオイルを注油して下さい。

ロータリーに注油することで、ロータリー内部を水分による錆から守ります。

## 3 楽器表面のお手入れ



クロスなどを使って管体表面の汚れやほこりを拭き取って下さい。

- ❗ 楽器をケースに収納する際は、抜差管を管内にすべて納めて下さい。汚れや抜差管の故障の原因となります。

### ときどきのお手入れ

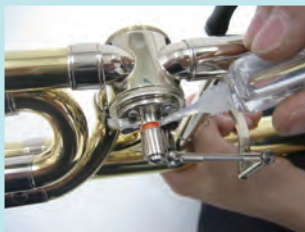
#### ロータリーのお手入れ (週に1~2回)



- ① ロータリーのキャップをはずし、ロータリーの中央の軸を支えている所にオイルを少量注油します。

※ ロータースピンドルオイルを使用して下さい。

● オイルを注す箇所



- ② ロータリーの回転軸と軸受けにもオイルを少量注油します。

※ ロータースピンドルオイルを使用して下さい。

- ③ レバーを数回動かしてオイルをなじませ、ロータリーのキャップを締めます。

● オイルを注す箇所

#### 抜差管のお手入れ (月に1~2回)



- ① それぞれの抜差管を抜きます。

- ② ガーゼをクリーニングロッドに先端が露出しないように巻きつけ抜差管の内側の汚れを取ります。



- ③ 抜差管の古いグリスや汚れをガーゼで拭き取ります。



- ④ 抜差管に新しいスライドグリスを少量塗ります。



- ⑤ スライドグリスがなじむように抜差管を数回動かします。

- ⑥ はみ出たスライドグリスをガーゼでふき取ります。



#### レバーのお手入れ (月に1~2回)



レバーの支持台の軸受け部にレバーオイルを差し、オイルがなじむようにレバーを数回動かします。

オイルを付けすぎた場合は、きれいに拭き取って下さい。

※ レバーオイルを使用して下さい。

● オイルを注す箇所

テナーバス

テナーバス